

# 解 答 速 報

## 日本大学 一般選抜Ⅰ期 (N方式) 生物

I

1 : ⑥    2 : ⑥    3 : ⑥    4 : ③

II

5 : ④    6 : ①    7 : ⑥

III

8 : ⑥    9 : ④    10 : ⑥    11 : ⑤

IV

12 : ②    13 : ⑥    14 : ⑤    15 : ③

V

16 : ②    17 : ③    18 : ①    19 : ②

VI

20 : ⑦    21 : ⑨    22 : ③

VII

23 : ⑧    24 : ⑦    25 : ⑥

～講評～

- I 受容体をテーマとした問題であったが、酵素反応の阻害と同じ理屈で考察すればよいことに気付けたどうか勝負を分けただろう。
- II 遺伝情報の発現に関する問題で、正しい知識があれば複雑な考察は要せず、得点しやすかった。
- III 植物の生殖と遺伝に関する問題で、類題を解いたことがない受験生は、正解にたどり着くために注意しなければいけないいくつかのポイントに気付かず、点を落としたのではないかと思われる。
- IV 浸透圧調節がテーマであり、難しい内容ではなかったが、クリアランス値を扱った経験のない受験生は戸惑ったかもしれない。
- V 血液型をテーマとした遺伝と免疫の問題であり、必要な知識や考察自体は標準的であったが、問題文が意図することや選択肢が表すことを正しく読み取る必要があった。
- VI・VII それぞれ、生態系分野から植生をテーマとした出題、そして進化と系統に関する出題であった。どちらの大問も求められている知識や考察力は標準的なものであったが、植物や進化・系統に対する関心の薄い医学部受験生は難しく感じたかもしれない。

全体的に標準レベルの知識問題と典型的な考察問題で構成されており、高得点が狙えた。ただ、さまざまな分野から広く出題されているので、苦手もしくは勉強不足の分野がある受験生は失点を増やすこともあっただろう。得点目標は7割5分～8割といったところ。



メルマガ登録（無料）またはLINE 公式アカウント友だち登録（無料）で全教科閲覧できます！  
メルマガ登録は左のQRコードから、LINE 友達登録は右のQRコードから行えます。



<p><b>渋谷校</b></p> <p>☎ 0120-142-760</p> <p>東京都渋谷区桜丘町 6-2</p>	<p><b>名古屋校</b></p> <p>☎ 0120-148-959</p> <p>名古屋市中村区名駅 2-41-5 CK20 名駅前ビル 2F</p>	<p><b>大阪校</b></p> <p>☎ 0120-142-767</p> <p>大阪府吹田市広芝町 4-3 4 江坂第1ビル 3F</p>
<p>個別専門館 <b>麹町校</b></p> <p>TEL : 050-1809-4751</p> <p>東京都千代田区二番町 8-20</p>	<p><b>ビッグバン京都校</b></p> <p>TEL : 075-746-4985</p> <p>京都市下京区下諏訪町 360</p>	<p><b>医特塾 阿佐谷本校</b></p> <p>TEL : 03-6279-9927</p> <p>東京都杉並区阿佐谷南 3-37-2 第二大同ビル 2F</p>